

がいこくじん にほんじん ともく
外国人と日本人が共に暮らすために

～ライフサイクルにおける

けいぞくてき しえん
継続的な支援から～



あいちけんたぶんかきょうせい
愛知県多文化共生シンボルマーク

ねん
2017年
がつ にち とうび
11月18日
13:00～16:30

なごやかこくさい
名古屋国際センター
べつむね
別棟ホール

ていいん めい にゆうじょう むりよう
定員250名(入場無料)

きちょうこうえん
基調講演

たぶんか きょうそう
多文化“共創”に

なぜライフサイクルの視座が必要なのか!

そうご せかい れんさ せかい はっしん
～相互ケアは世界に連鎖する(あいちから世界への発信)～

だいてうぶんか だいがく めいよきょうじゆ ぱくし がくじゆつ
大東文化大学名誉教授・博士(学術) 川村 千鶴子 氏

たぶんかしゃかいけんきゆうかいりしじやう しんじゆく たぶんかきょうせい
多文化社会研究会理事。新宿区多文化共生まちづくり会議部会長。
りやくれき けいあう きしゆくだいがくそつ たぶんか きょういく けんきゆうしよきやう だいてうぶんか だいがく かんきょうそつ ぞう かく ぎきょうじゆ ねん
略歴：慶應義塾大学卒。多文化教育研究所長、大東文化大学環境創造学部教授(2013年
～2015年には学部長)、日本島嶼学会理事、日本オーラルヒストリー学会理事、移民政策
がつかいりじ れきしん おち ちよしよ たみんぞくきょうせい まち しんじゆく そちから ねん いぶんか かんかいこ
学会理事を歴任。主な著書に『多民族共生の街・新宿の底力』(1998年)、『異文化間介護
と多文化共生』(2007年)、『多文化社会の教育課題』(2014年)、『多文化都市・新宿の
たぶんかきょうせい ねん たぶんかしゃかい きょういくか だいい ねん たぶんかとし しんじゆく
創造—ライフサイクルと生の保障』(2015年)、『多文化「共創」社会入門』(2016年)、『い
のちに国境はない—多文化「共創」の実践者たち』(2017年)ほか多数。



13:00～13:05

ちしあひさつ
知事挨拶

13:05～13:30

あいちけんたぶんかきょうせいすいしんこうろうしゃひようしやう
愛知県多文化共生推進功労者表彰

あいち多文化共生作文コンクール
優秀作品表彰・朗読

13:30～14:40

きちょうこうえん
基調講演

(休憩)

14:50～15:00

しん たぶんかきょうせいすいしん かしやう
新あいち多文化共生推進プラン(仮称)について

15:00～16:30

パネルディスカッション

パネルディスカッション

にゆうよう じき こそだ かんが
乳幼児期からの子育てを考える

●コーディネーター

あいち しゆくどく だいがく とうりゆうぶんか がくぶ じゆんきやうじゆ ことしま よしみ し
愛知淑徳大学交流文化学部 准教授 小島 祥美 氏

●パネリスト

とくてい ひえいり かつどう ほうじん
特定非営利活動法人アジャスト きよなが ゆたか し
清長 豊 氏
とよた にほんご がくしゆし えん
とよた日本語学習支援システム すずき たかお し
鈴木 崇夫 氏
とくてい ひえいり かつどう ほうじん き ほう ひかり
特定非営利活動法人希望の光 やま け し
山家ヤスエ 氏
ちゆうぶ だいがく せいめいけんこう がくぶ じよきやう
中部大学 生命健康科学部 助教 おおたに し
大谷かがり 氏

★申込方法・パネリスト紹介については
裏面を御覧ください。

しゆざい あいちけん
主催：愛知県

こうえん ないかくぶ そうむしやう
後援：内閣府、総務省

パネリスト

<p>特定非営利活動法人アジャスト 代表理事 清長 豊 氏</p> <p>京都大学霊長類研究所で学習に困難さがある子どもの指導や外国につながる子どもの学習支援などを行い、「特定非営利活動法人発達障害療育センター」で療育指導員を務める。2016年に「特定非営利活動法人アジャスト」を立ち上げ、「子どもにも保護者にもわかりやすい」をモットーに、学習支援、ICT教材の独自開発・実践、発達相談、教育機関との連携など、発達障害を中心に子どもに関わる様々なことを包括的にケアしている。</p>	<p>とよた日本語学習支援システム 鈴木 崇夫 氏</p> <p>名古屋外国語大学大学院国際コミュニケーション研究科にて博士号（日本語学・日本語教育学）取得。バイリンガル教育・継承語教育の第一人者である中島和子先生に師事し、カナダにて言語的マイノリティ児童の言語習得（英語と継承語）について研究。2016年度より名古屋大学国際言語センター特任助教に就任し、とよた日本語学習支援システムのシステム・コーディネーターを務める。他に名古屋外国語大学非常勤講師、三重大学非常勤講師を務める。</p>
<p>特定非営利活動法人希望の光 日本語事務 山家 ヤスエ 氏</p> <p>青山学院大学大学院総合文化政策学卒。在日ブラジル人の「第2世代」として、教育活動やスポーツ等を通じ、日本に居住する外国人と日本人との文化の調和を図り、互いの文化を理解できるよう「特定非営利活動法人希望の光」の日本語事務として支援に携わっている。豊田市の語学指導員として小中学校の児童生徒の支援やブラジル人学校エスコラネクターでブラジル人児童生徒の指導も行う。</p>	<p>中部大学 生命健康科学部 助教 大谷 かがり氏</p> <p>愛知県立大学大学院国際文化研究科博士後期課程単位取得満期退学、看護学修士。静岡県で看護師として働いたのち、2003年より豊田の保見団地にて外国人医療支援グループの活動に参加。健康相談や食育のワークショップに取り組み。2006年から日系ブラジル人の子どもの健康問題を調査。現在は、中部大学看護実習センター、生命健康科学部保健看護学助教授。</p>

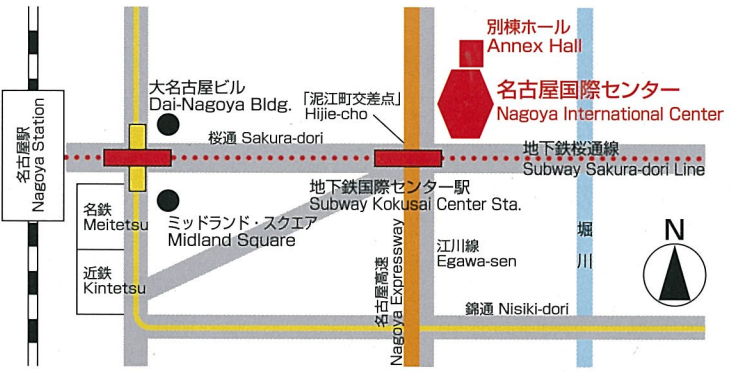
～コーディネーター～ **愛知淑徳大学 交流文化学部 准教授 小島 祥美 氏**

小学校教員・NGOの職員を経たのち、岐阜県可児市にて全国初の外国人の子どもの就学実態調査を行ったことから、市教育委員会の初代外国人児童生徒コーディネーターを務める。2007年より愛知淑徳大学コミュニティー・コラボレーションセンター講師、同大学文学部准教授を経て現職。プレスクール実施マニュアル検討会議コーディネーター、新あいち多文化共生推進プラン（仮称）検討会議委員などを歴任。代表著書に『外国人の就学と不就学～社会で「見えない」子どもたち』などがある。

【会場アクセス】

名古屋国際センター 別棟ホール
(名古屋市中村区那古野1丁目47番1号)

- 名古屋駅（JR線・名鉄線・近鉄線など）から東へ徒歩約7分
- 地下鉄桜通線「国際センター」駅下車2番出口すぐ
- 市バス「国際センター」下車すぐ
- 駐車場はありませんので、公共交通機関を御利用ください。



参加申込書（先着順） FAX、Eメール（件名：「フォーラム申込み」）、郵送などでお申し込みください。

お名前	(ふりがな)		
団体名 (任意)			
住んでいる市町村	連絡先	TELまたはEメール	

※申込完了の御連絡はいたしません。定員を超えた場合のみ御連絡いたします。
 ※お送りいただいた個人情報、当イベント以外では使用しません。